

計画段階評価について
国道188号岩国市（ふじゅう藤生～ながの長野付近）
第1回 説明資料

平成29年5月22日

国土交通省 中国地方整備局

| | | |
|-----------------------------|-------|----|
| 1. 評価対象区間 | ・ ・ ・ | 2 |
| 2. 地域の現状と課題 | ・ ・ ・ | 5 |
| 3. 道路の現状と課題 | ・ ・ ・ | 11 |
| 4. 地域に配慮すべき事項 | ・ ・ ・ | 18 |
| 5. 政策目標の素案（地域、道路交通の課題とその要因） | ・ ・ ・ | 20 |
| 6. 地域の将来像との整合 | ・ ・ ・ | 22 |
| 7. 政策目標の案（整備方針の検討） | ・ ・ ・ | 24 |
| 8. 意見聴取方法（案） | ・ ・ ・ | 27 |
| 9. 計画段階評価の進め方（案） | ・ ・ ・ | 35 |

1. 評価対象区間

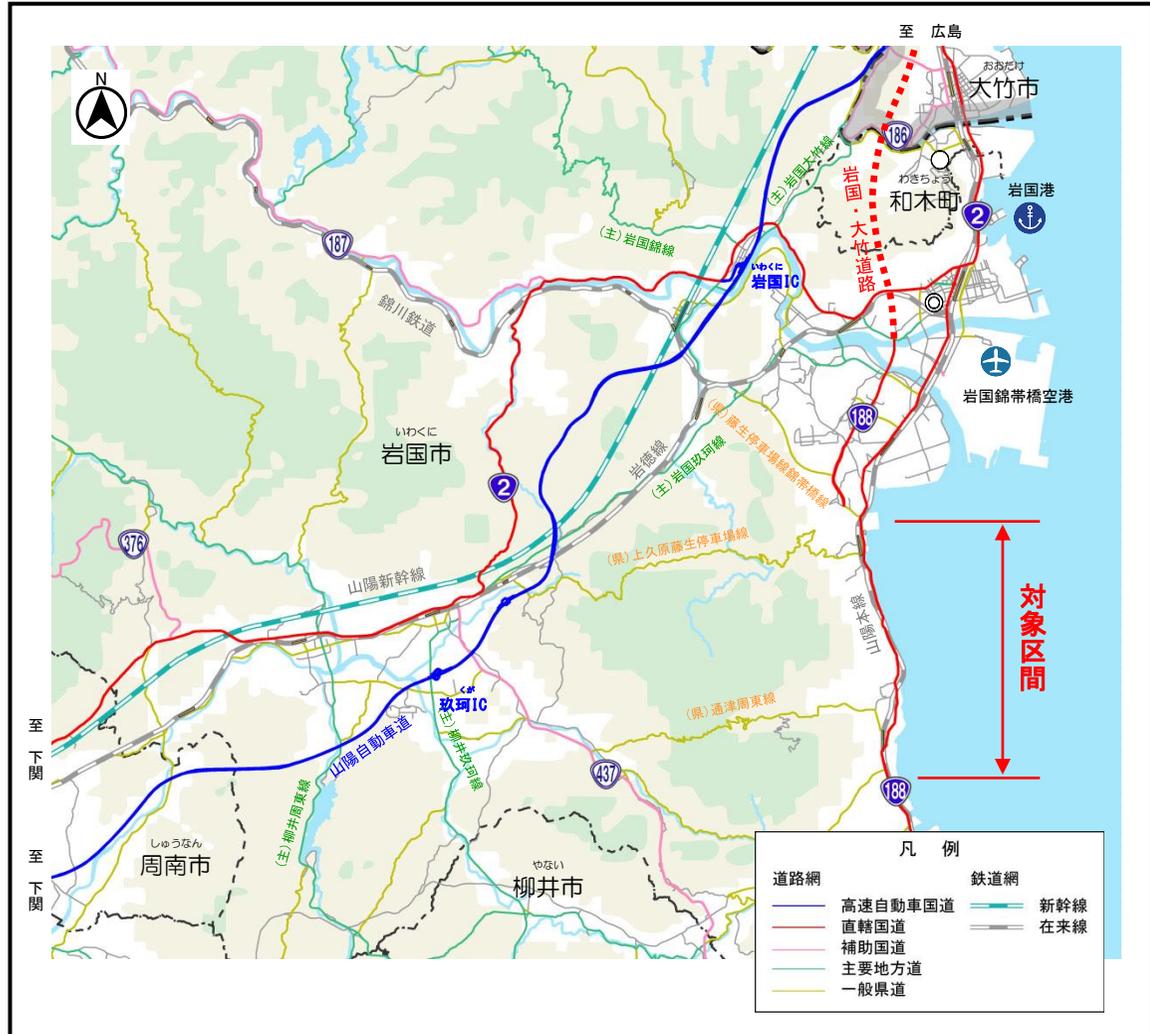
1. 評価対象区間

- 計画段階評価対象区間(以下、「対象区間」)の国道188号岩国市(藤生～長野付近)は、岩国市の1市で構成(以下、「対象地域」)され、人口は約14万人。
- 対象地域内の幹線道路ネットワークは、東西方向に山陽自動車道と国道2号、南北方向に国道188号で構成される。

■対象地域の位置



■対象地域の交通網



| 市町名 | 人口 (人) | 世帯数 (世帯) | 面積 (km ²) | 人口密度 (人/km ²) |
|-----|-----------|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 岩国市 | 136,757 | 59,080 | 873.72 | 156.50 |

1. 評価対象区間

○対象区間における南北方向の道路ネットワークは国道188号で構成され、以北の区間である国道188号岩国南バイパスが暫定2車線で供用済み、国道2号岩国・大竹道路は事業中である。



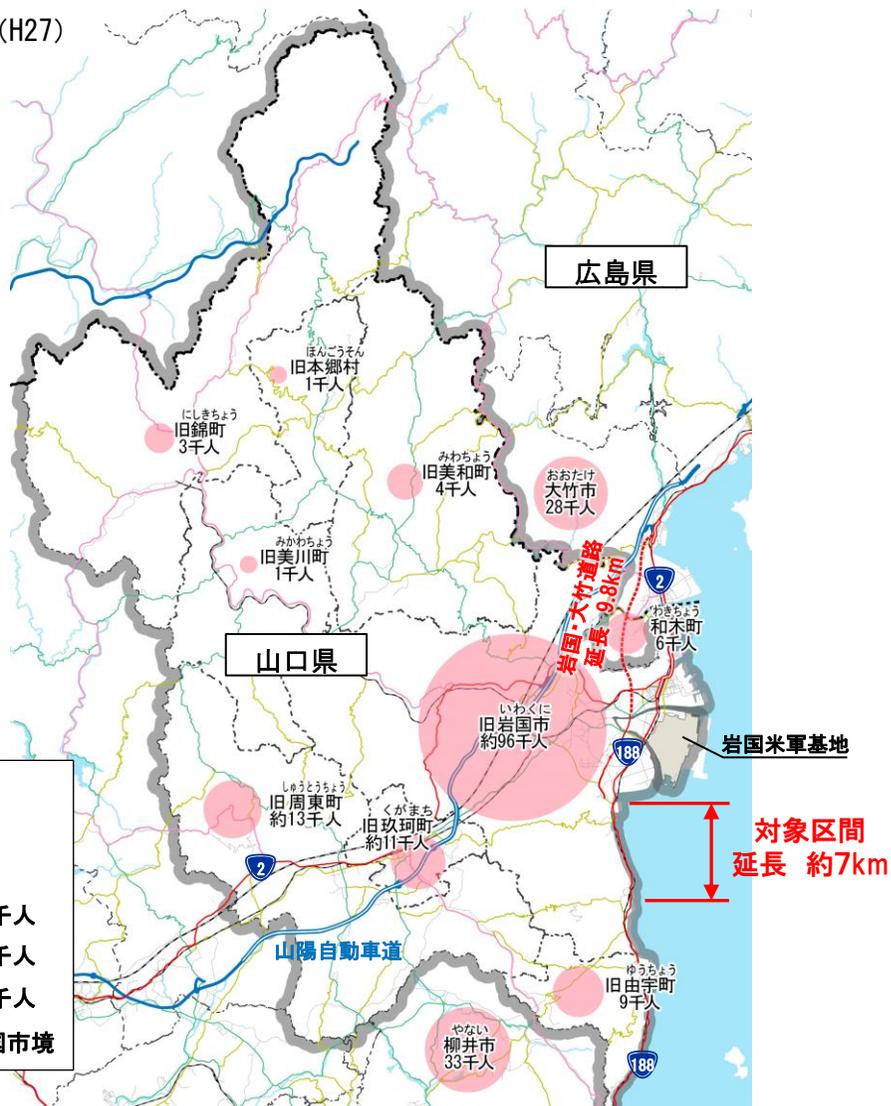
2. 地域の現状と課題

2. 地域の現状と課題（人口）

○対象地域の人口は全国や山口県と比べて減少しており、将来において減少傾向の見込み。

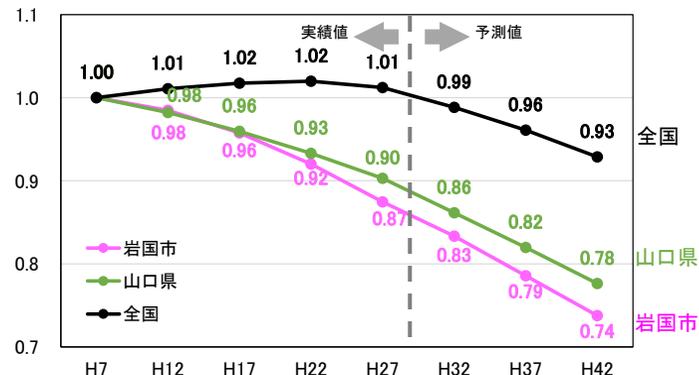
○年齢別の人口構成は、岩国市は40～50歳代の生産年齢人口の割合が高く、今後10～20年間で全国平均と比べ高齢化が進むことが予想される。

■沿線地域の人口（H27）



資料/H27国勢調査

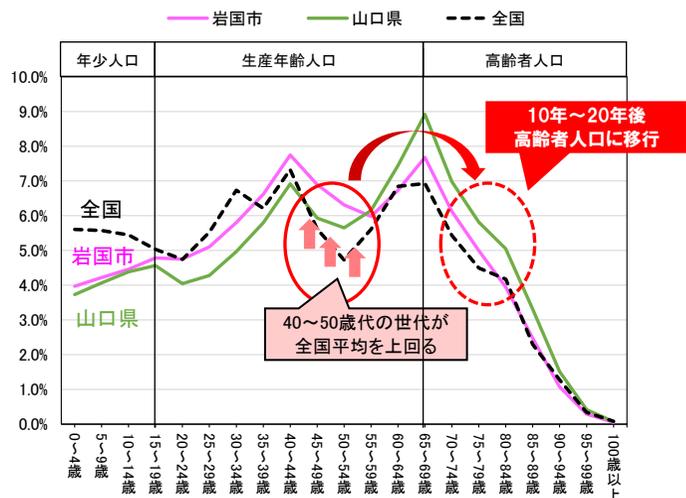
■沿線地域の人口の推移と伸び率 ※平成7年を1.0とした場合



資料/【実績値】国勢調査（総務省）

【予測値】日本の地域別将来人口（平成25年3月推計）国立社会保障・人口問題研究所

■沿線地域の年齢別人口構成

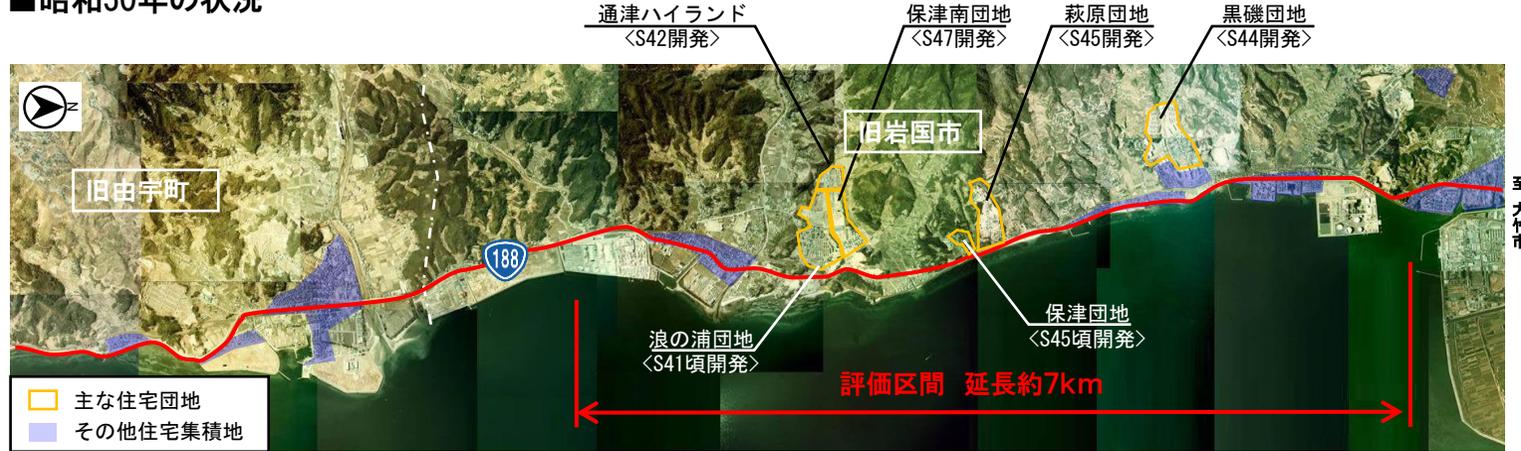


資料/H27国勢調査（総務省）

2. 地域の現状と課題（開発計画）

- 昭和50年頃から沿線での住宅団地開発が進み、それに伴い国道188号の交通量が増加。
- 今後も、旧岩国医療センターの跡地において、新たなまちづくりが検討されている。

■昭和50年の状況

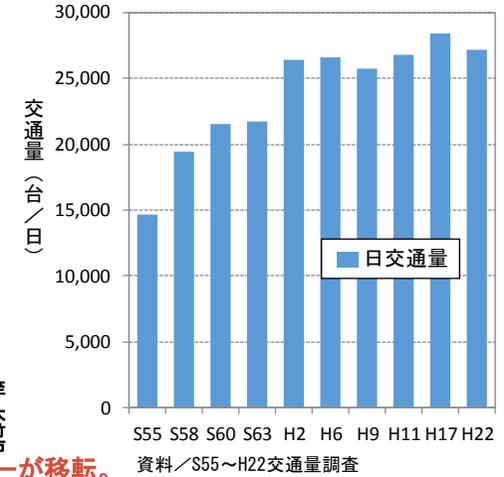


開発された団地への立地や新たな団地開発等が進展

■現在の状況



■国道188号（藤生～長野間）の交通量推移



平成25年3月岩国医療センターが移転。跡地では福祉のまちづくりを目指す*。
※岩国市都市計画マスタープラン(H29.3.岩国市)

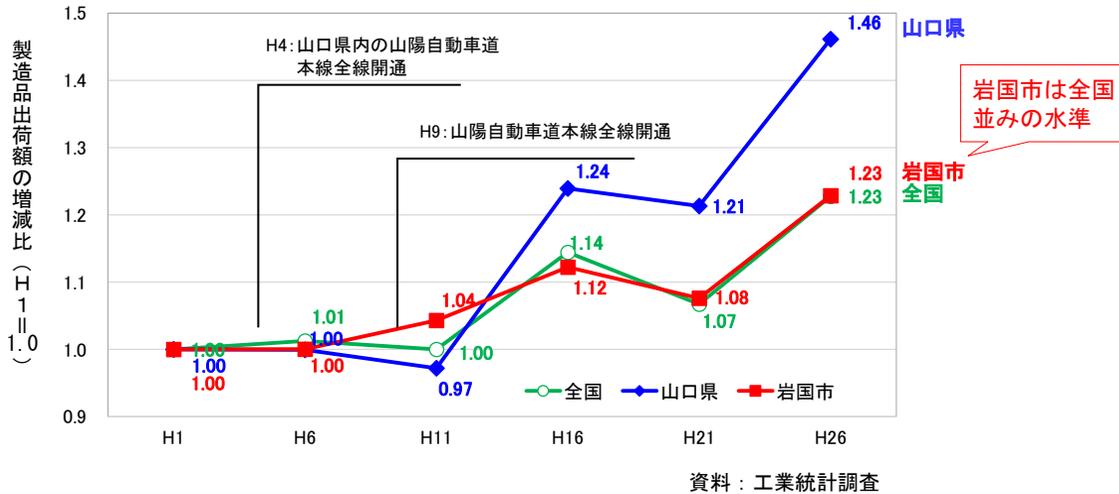
※航空写真は平成20年時点

資料/航空写真：国土画像情報（国土地理院）
世帯数：岩国市より
※その他住宅集積地は、航空写真より判断

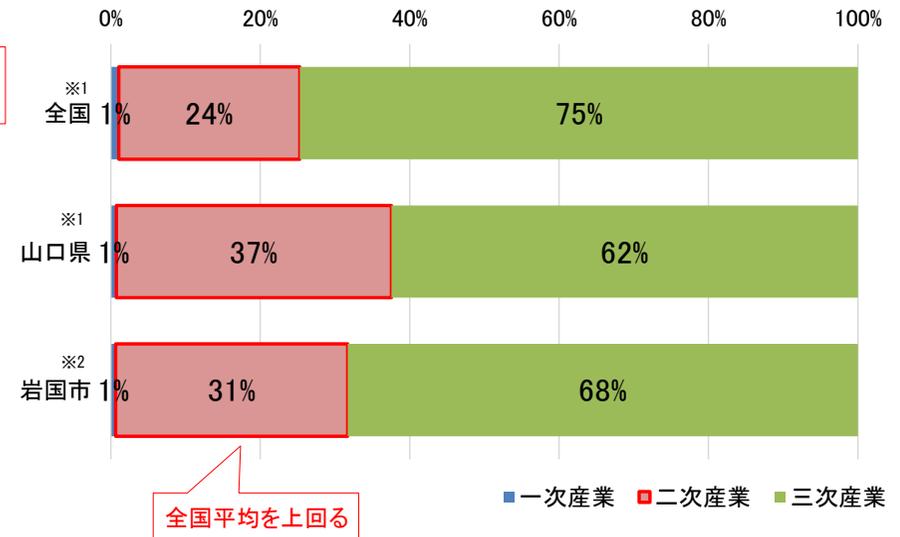
2. 地域の現状と課題（地域経済）

- 対象地域の製造品出荷額等は増加しており、全国並みに伸びている。
- 対象地域の製造品出荷額等は、化学工業やパルプ・紙・紙加工品の割合が約5割を占めている。
- 対象地域の総生産における第2次産業の割合は、約3割で全国平均を上回っており、第2次産業が地域の重要な産業となっている。

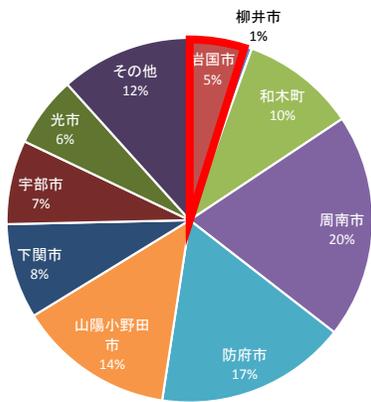
■製造品出荷額等の推移（H1～H26）



■総生産における第2次産業の割合（H25）

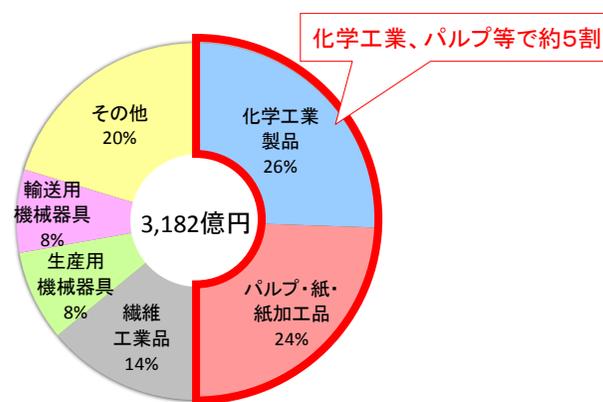


■山口県内の製造品出荷額等割合（H26）



資料／工業統計調査（H26）

■岩国市の製造品出荷額等割合（H26）



資料／工業統計調査（H26）

※1 資料／H25県民経済計算
 ※2 資料／H25山口県市町民経済計算
 注) 第1次産業：農業、林業、漁業
 第2次産業：鉱業、建設業、製造業など
 第3次産業：情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、サービス業など

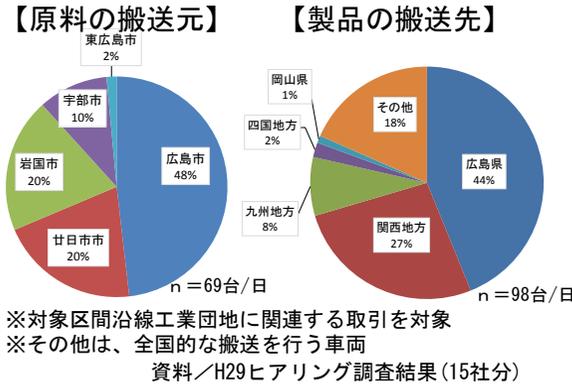
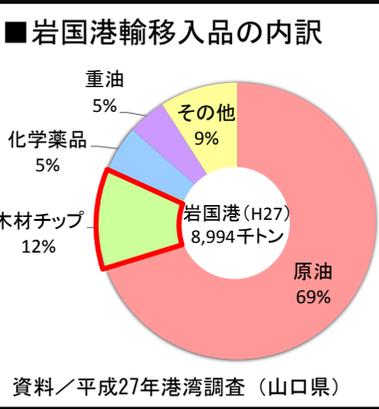
2. 地域の現状と課題（産業）

○対象地域は臨海部にコンビナートが形成されており、化学工業やパルプ・紙・紙加工品等の製造企業が多く立地しており、岩国港には原油を始めとする工業品の原材料が多く移輸入されている。

○沿線に立地する工業団地においても製造業事業所が立地しており、国道188号及び山陽自動車道を利用した原料・製品の輸送が行われており、速達性の高い輸送道路ネットワークの構築が求められている。

■沿線地域の主な事業所エリア、主要企業

■対象区間を利用した物流状況

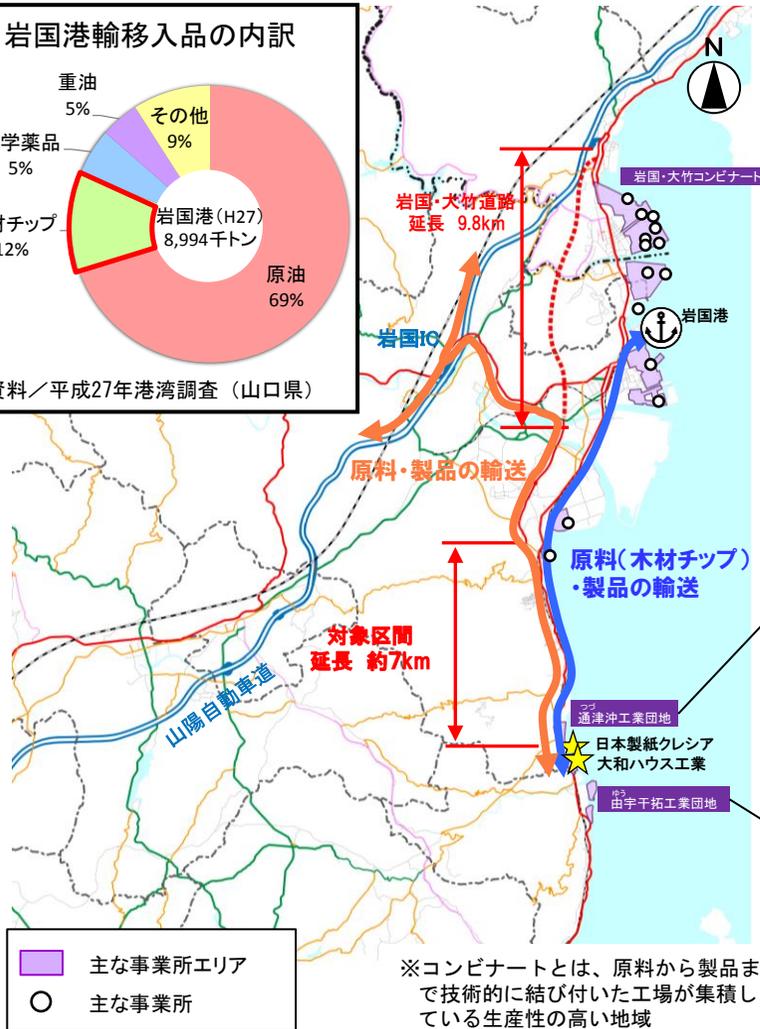


【大和ハウス工業 マルチテナント型物流施設】

・平成29年春に最大6テナントが入居可能な物流施設を稼働予定

【日本製紙クレシア 岩国物流センター】

・物流機能の強化を図り、中四国・九州をカバーする物流拠点として機能。



- ### 通津沖工業団地：企業数9社
- 旭化成建材(株) 岩国工場
 - (株)ミツウロコ岩国発電所
 - 日本製紙クレシア(株) 岩国物流センター
 - 東洋自動機(株) 岩国工場
 - アルマティス(株)
 - 大和ハウス工業(株)
 - 朝日鉄工(株)
 - 大邦工業(株)
 - 旭興産(株)

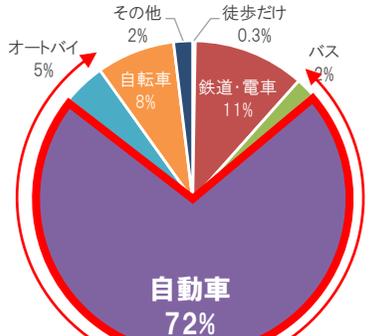
- ### 由宇干拓工業団地：企業数10社
- (有)由宇衛生社
 - デルタ工業(株) 由宇工場
 - (株)キーレックス 由宇工場
 - 東邦工業(株)
 - (株)森野組
 - (株)河内
 - ミヤマ造船
 - (株)セイエル 岩国営業所
 - 平安典礼
 - 久保建築事務所

2. 地域の現状と課題（地域内流動）

- 対象地域内の通勤・通学先は、自市内が多く、市町間では岩国市～大竹市間が多い。
- 対象地域における、自市内および他市町への交通手段では道路利用が大半を占め、約6～7割が自動車を利用。
- 旧岩国市や旧柳井市に大型店舗が集積しており、周辺市町からの買物流動が集中している。

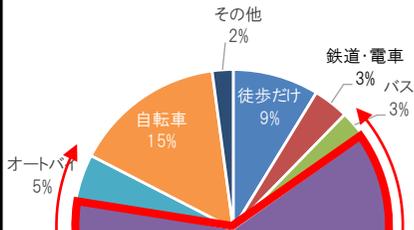
■沿線地域の通勤・通学流動（H22）

利用交通機関比率
(岩国市⇒柳井市、和木町、大竹市)



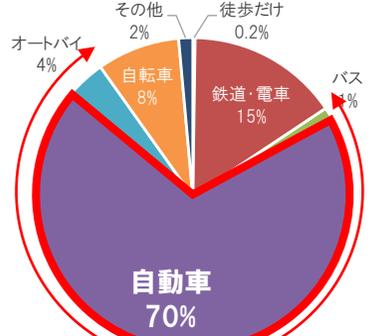
約8割が道路利用

利用交通機関比率（岩国市内）



約7割が道路利用

利用交通機関比率
(柳井市、和木町、大竹市⇒岩国市)



約8割が道路利用



資料／平成17年国勢調査

■沿線地域の買物流動



資料／平成24年買い物動向調査（山口県）

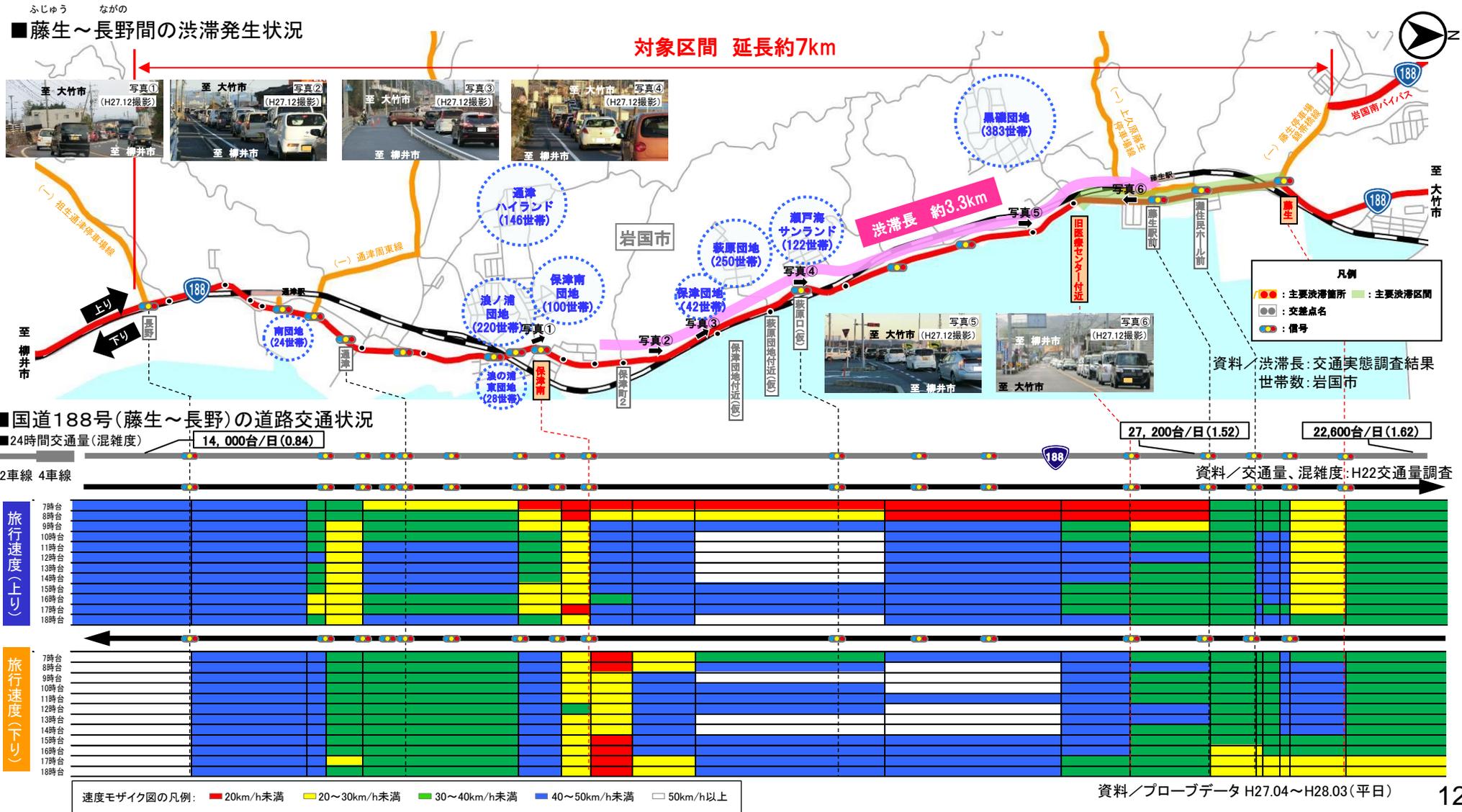
※他市町への通勤通学流動方向矢印は、100人以上のみを表示
※人口10万人未満の市町では利用交通機関比率のH22国勢調査のデータがないため未掲載（岩国市のみ）

3. 道路の現状と課題

3. 道路の現状と課題（渋滞）

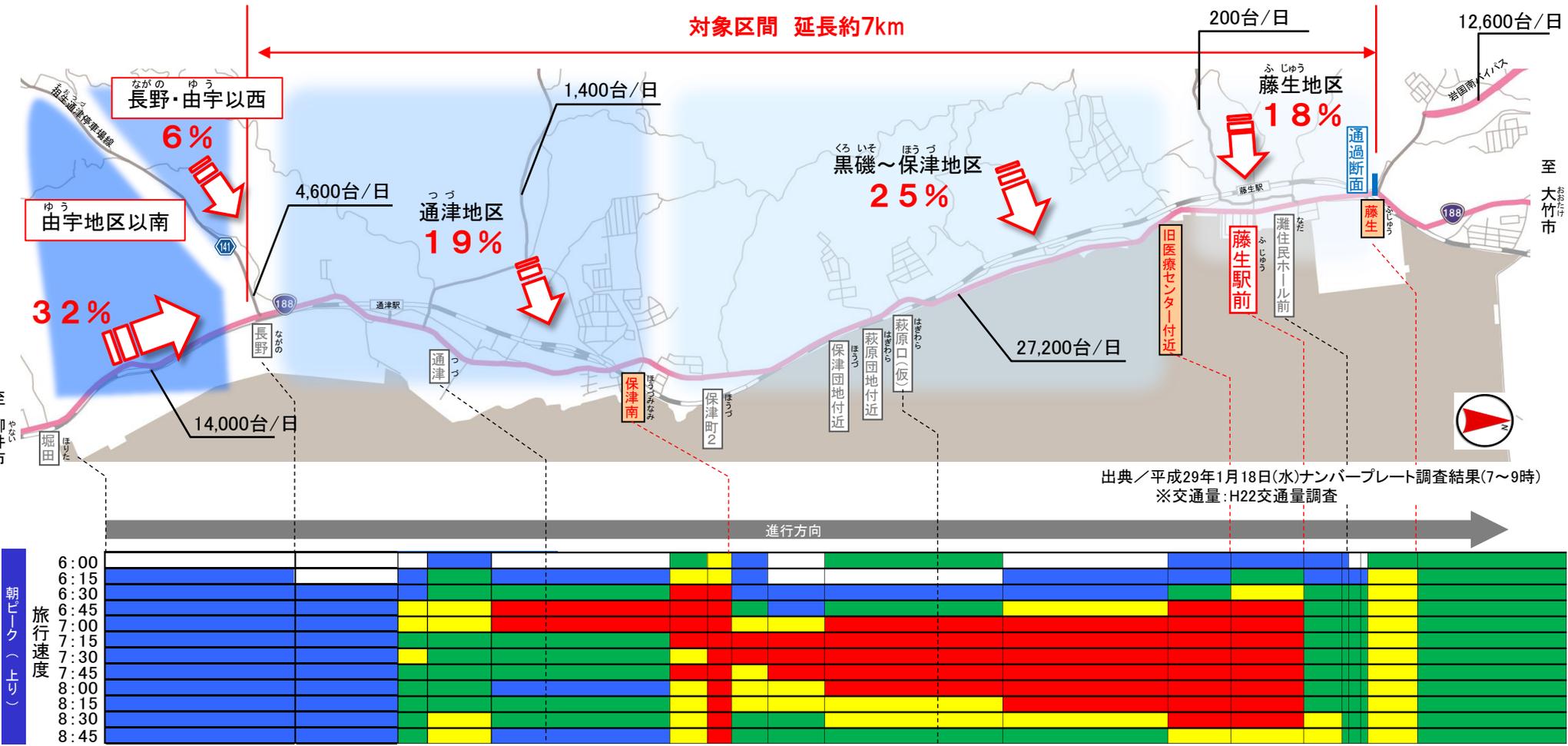
○対象区間は、幹線道路が国道188号に限られることから、朝の通勤時間帯には交通が集中し、藤生駅前交差点を先頭とした約3.3kmの速度低下が生じ、藤生～長野間の所要時間が通常時と比べて21分増加する。（通常時18分⇒混雑時39分）

○国道188号藤生～長野間の日交通量がH22交通量調査では14千台～27千台であり、現状で交通容量を超過している。



3. 道路の現状と課題（渋滞）

- 朝の通勤時間帯は藤生駅前交差点を先頭に、長野周辺まで速度低下が発生している。
- ナンバープレート調査より、国道188号藤生交差点を通過する交通のうち約4割が、由宇地区以南、長野・由宇以西からの交通であることを確認している。

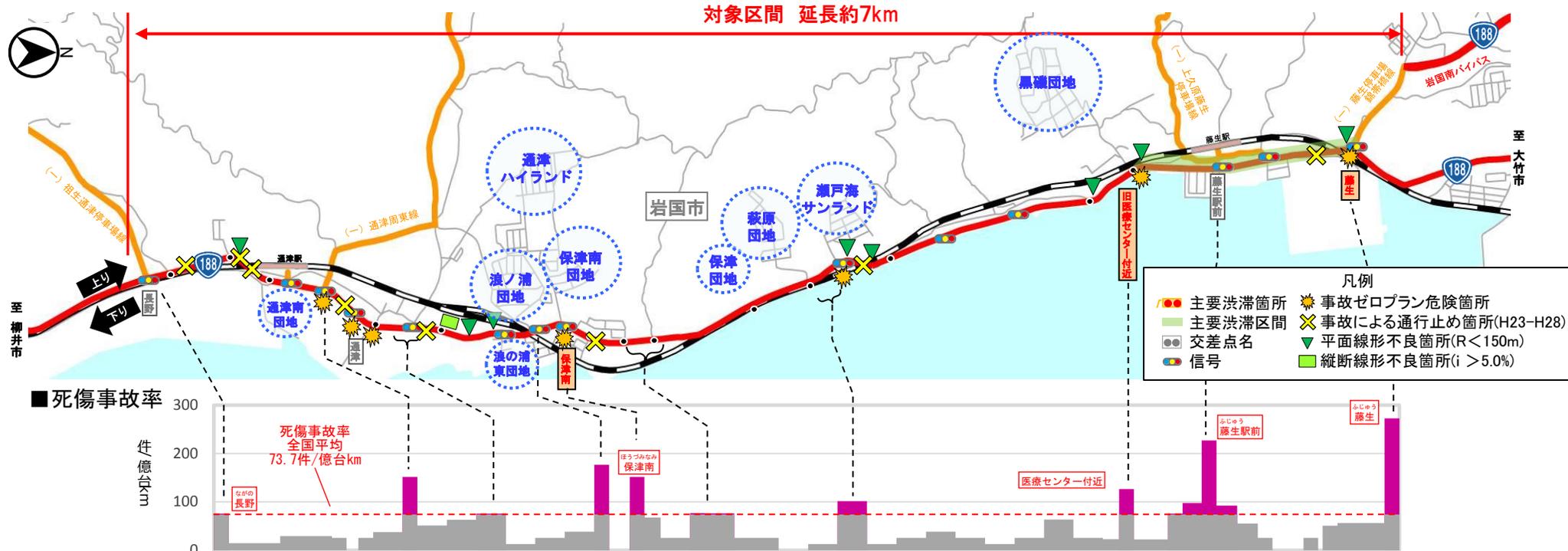


速度モザイク図の凡例：■ 20km/h未満 ■ 20～30km/h未満 ■ 30～40km/h未満 ■ 40～50km/h未満 □ 50km/h以上

出典／旅行速度：民間プローブデータ H27.04～H28.03(平日)

3. 道路の現状と課題（事故）

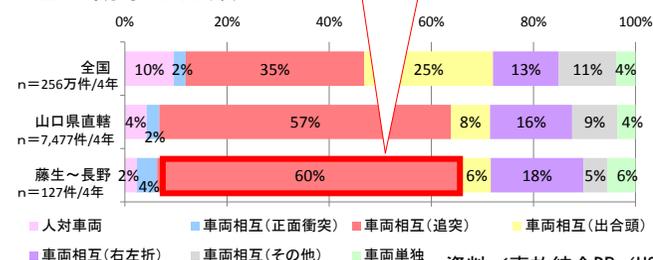
- 対象区間には年間で約32件の死傷事故が発生しており、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が藤生交差点を始め、10箇所存在する。
- 信号交差点が多く、交差点からの出入り交通や、渋滞などに起因すると考えられる追突事故が全国平均と比べ高い。
- 国道188号は2車線道路であることから、正面衝突など全面通行止めを伴う交通事故が8件(H23~H28)、計約11時間の規制が発生。



■交通事故による全面通行止め実績（H23～H28）

| 発生日 | 発生時間 | 規制時間 | 事故類型 |
|-----------|-------|-------|--------|
| H23.7.6 | 19:30 | 0:03 | 単独事故 |
| H26.7.27 | 15:54 | 0:51 | 出会い頭衝突 |
| H26.12.11 | 18:10 | 0:43 | 正面衝突 |
| H27.12.20 | 13:14 | 0:40 | 正面衝突 |
| H28.5.23 | 21:26 | 2:38 | 正面衝突 |
| H28.11.24 | 7:32 | 3:43 | 単独事故 |
| H28.12.9 | 8:32 | 1:17 | 衝突事故 |
| H29.3.4 | 19:29 | 0:53 | 歩行者と接触 |
| 合計 | | 10:48 | |

■死傷事故分類



追突事故割合が6割

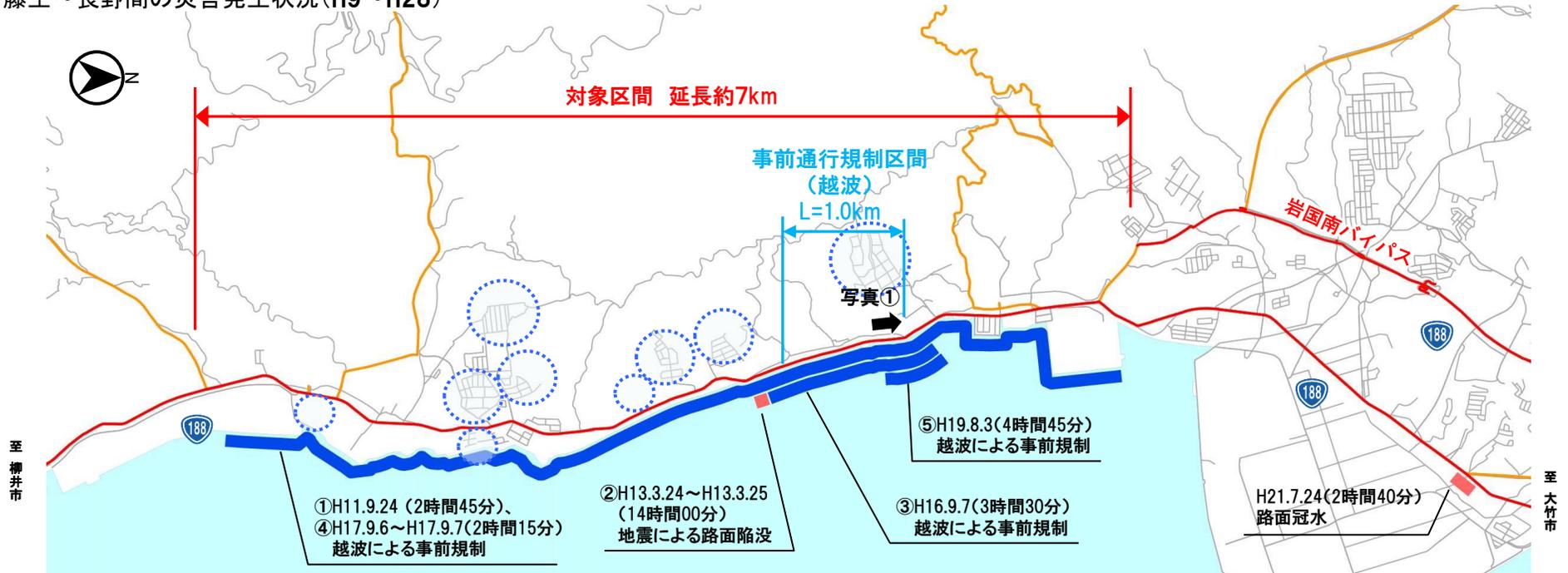
資料/通行規制データ (H23~H28)

資料/事故統合DB (H23~H26)
全国: 警察庁データ (H23~H26)

3. 道路の現状と課題（災害）

- 対象区間には越波による事前通行規制区間が存在するとともに、過去20年間（H9～H28）で全面通行規制が4回発生するなど防災上脆弱な区間である。
- 近年は局地的な豪雨による土砂災害が頻発しているため、災害時にも機能する道路ネットワークが求められている。
- 特に平成17年台風14号では、山陽自動車道や国道2号を含む南北の交通網が分断され、地域住民の生活に大きな影響が出た。

■藤生～長野間の災害発生状況（H9～H28）



(全面通行規制箇所)

- 越波・高波による全面通行規制箇所
- その他の要因による全面通行規制箇所

規制期間、規制時間、規制内容

- 沿線集落

■越波による通行止め実績（H9～H28）

| 発生年 | 件数 | 規制時間 |
|-----|-------|---------|
| H11 | 1件 | 2時間45分 |
| H16 | 1件 | 3時間30分 |
| H17 | 1件 | 2時間15分 |
| H19 | 1件 | 4時間45分 |
| 合計 | 4件 | 13時間15分 |
| 平均 | 1件当たり | 3時間19分 |

越波による全面通行規制が発生



資料／通行規制データ（H9～H28）
山口県土砂災害危険箇所マップ、山口県津波浸水想定図

3. 道路の現状と課題（災害）

○対象地域周辺は、平成17年の台風14号において山陽自動車道や国道2号を始め、多くの箇所で通行止めとなった。



| 番号 | 路線名 | 規制理由 | 規制開始 | 規制解除 | 規制時間 |
|----|----------|---------|---------------|----------------|--------|
| ① | 山陽自動車道 | 崩落 | H17.9.6 14:55 | H17.9.7 21:38 | 30:43 |
| ② | 国道2号 | 事前 | H17.9.6 20:08 | H17.9.7 16:30 | 20:22 |
| ③ | 〃 | 冠水 | H17.9.6 23:30 | H17.9.7 0:00 | 0:30 |
| ④ | 〃 | 崩落 | H17.9.7 9:00 | H17.9.14 6:00 | 141:00 |
| ⑤ | 〃 | 側道橋落橋 | H17.9.8 11:25 | H17.9.8 21:50 | 10:25 |
| ⑥ | 〃 | 崩土 | H17.9.6 18:30 | H17.9.6 22:00 | 3:30 |
| ⑦ | 国道188号 | 事前 | H17.9.6 23:30 | H17.9.7 1:45 | 2:15 |
| ⑧ | 国道437号 | 崩土 | H17.9.6 18:50 | H17.9.6 23:50 | 5:00 |
| ⑨ | 岩国玖珂線 | 事前 | H17.9.6 20:30 | H17.9.7 17:00 | 20:30 |
| ⑩ | 新岩国停車場 | 崩土・冠水 | H17.9.6 21:15 | H17.9.7 19:00 | 21:45 |
| ⑪ | 上久原衛生停車場 | 崩土 | H17.9.7 7:00 | H18.6.30 17:00 | 約10ヶ月 |
| ⑫ | 通津周東 | 陥没・路肩崩壊 | H17.9.7 12:00 | H17.9.10 18:00 | 78:00 |
| ⑬ | 〃 | 崩土・倒木 | H17.9.7 9:00 | H17.9.10 18:00 | 81:00 |
| ⑭ | 相生通津停車場 | 崩土 | H17.9.6 19:00 | H17.9.10 17:00 | 22:00 |

■ : 対象区間の通行規制時の通行止め発生箇所

凡例

✕ H17台風14号による通行止め箇所

↔ 事前通行規制区間 (連続雨量250mm)

※対象区間の通行規制時の通行止め発生箇所

3. 道路の現状と課題（迂回状況）

○対象区間では代替路が無く、通行止めが発生した場合、大幅な迂回を強いられる。



4. 地域に配慮すべき事項

4. 地域に配慮すべき事項（自然環境）

○最新の既往文献から重要な動物等が分布している可能性を確認している。



| | |
|----------|------------|
| ● 猛禽類 | — 高速道路 |
| ● 昆虫 | — 一般国道（直轄） |
| ● その他の動物 | — 一般国道（補助） |
| ● 植物 | — 主要地方道 |
| ● 資源 | — 県道 |
| | — 市道 |

植物

通津のイヌマキ巨樹

(県指定天然記念物)

大歳神社（通津）にある、単木としては県下最大の巨木。幹周/3.8m 高さ/約16m 推定樹齢/350年

資料/山口県の文化財（山口県HP）

その他

桜井戸

(環境省名水百選)

良質の水は、古来より飲料水、船舶の飲料水として用いられており、昭和60年に名水百選に選ばれた。

資料/山口県観光連盟HP

昆虫

ツマグロキチョウ

(環境省：絶滅危惧II類)

シロチョウ科の小型の種。国内では本州、四国、九州に分布。日本各地の低地から山地の草原、河川の土手、田畑の周辺や荒地に見られる種である。県内における分布は局部的で個体数も少なく、急速に減少している種である。

資料/レッドデータブックやまぐち

動物

ミサゴ

(環境省：準絶滅危惧)

全長オス540mm、メス640mm。翼開長1,570~1,740mm。主に海岸に生息するが、大きな湖や川にも生息する。日本では九州以北で繁殖し、全国的に見られる。生息域内に人が構造物を作ったり、接近することによって、営巣木が伐られたり、安全な生息地が確保されにくくなっている。

■ 周辺で生息する可能性がある希少種として、サシバ（環境省：絶滅危惧II類、山口県：絶滅危惧II類）、ハチクマ（環境省：準絶滅危惧、山口県：準絶滅危惧）等の希少猛禽類、オオルリ（山口県：準絶滅危惧）、ヒクイナ（山口県：準絶滅危惧）等の鳥類、ノウサギ（山口県：準絶滅危惧）、アナグマ（山口県：準絶滅危惧）等の哺乳類、カジカガエル（山口県：準絶滅危惧）等の両性類が報告されている。

資料/レッドデータブックやまぐち

5. 政策目標の素案（地域、道路交通の課題とその要因）

5. 政策目標の素案（地域、道路交通の課題とその要因）

| | | 課題 | 原因 | 政策目標 |
|------------|----|---|--|--------------------|
| 地域 について | 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業の維持・増進 ⇒臨海部の工業団地には製造業等の事業所が19企業立地。 ⇒岩国港や岩国IC等への低いアクセス性。 ⇒製造品等の納入時間や通勤時間の遅延等により、企業活動に支障。 | <ul style="list-style-type: none"> ・輸送道路ネットワークの速達性が不十分 ⇒地域の主要産業である製造業において、速達性の高い輸送道路ネットワークが不十分。 | 産業振興を支援するネットワークの強化 |
| | 渋滞 | <ul style="list-style-type: none"> ・国道188号における交通混雑 ⇒朝の通勤時は、藤生駅前交差点を先頭とし、速度低下が約3.3kmに渡って発生。 ⇒国道188号(当該区間)には、主要渋滞箇所が3箇所存在。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通需要が交通容量を超過 ⇒南北方向の幹線道路が国道188号のみであるため、朝の通勤時間帯に交通が集中。 ⇒沿線には住宅団地が立地しており、通勤時間帯には国道188号に多くの交通が流入。 | 交通の円滑化 |
| 道路 について | 事故 | <ul style="list-style-type: none"> ・国道188号で多発する死傷事故 ⇒国道188号(対象区間)には、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が藤生交差点など10箇所存在。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交差点からの出入り交通や渋滞等に起因した追突事故が発生 ⇒南北方向の幹線道路が国道188号のみであるため、交通が集中し混雑が発生。 ⇒沿道から出入りも多く、走行性が悪い。 | 交通安全の確保 |
| | 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対し脆弱な国道188号 ⇒当該区間には越波による事前通行規制区間が存在。 | <ul style="list-style-type: none"> ・越波等による通行規制が発生 ⇒国道188号は海岸沿いを通行するため、越波や高潮、路面冠水の影響を受けやすい。 | 災害時に強い道路ネットワークの確保 |

6. 地域の将来像との整合

6. 地域の将来像との整合

山口県の総合計画等

■元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン（2015.3）

| 重点施策 | 施策の方向 |
|--|--|
| 突破プロジェクト1 世界に広がる産業力強化プロジェクト 【重点施策2】 産業を支える道路網の整備 | ○地域高規格道路や港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設促進 未着手区間の新規事業着手 ※岩国南バイパス南伸を早期事業化要望区間として指定（平成27年3月末時点） 【産業】 |
| 突破プロジェクト6 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト 【重点施策22】 地域や暮らしを支える道路網の整備 | ○地域高規格道路や港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設促進 未着手区間の新規事業着手 ※岩国南バイパス南伸を早期事業化要望区間として指定（平成27年3月末時点） 【産業】 |
| 突破プロジェクト12 災害に強い県づくり推進プロジェクト 【重点施策48】 災害対応力の強化 | ○地域住民の安心・安全を支える道路整備の推進 広域幹線道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備 ・災害時の救急活動・緊急物資の輸送、復旧活動の支援等に重要な役割を果たす広域的な道路ネットワークの構築 【災害】 |

岩国市の総合計画等

■第2次岩国市総合計画（2014.12）

| 施策 | 施策内容 |
|----------------------------|--|
| 施策2-2-1 企業誘致の推進 | ○企業誘致・投資誘致の推進 幹線道路網や港湾等、産業活動を支援する適切な基盤整備を推進します。 【産業】 |
| 施策3-1-1 幹線道路網の整備 | ○幹線道路整備の促進 慢性的な交通渋滞の緩和、災害時のダブルネットワークの確保、岩国錦帯橋空港等の主要施設へのアクセス向上を図るため、地域高規格道路等の早期整備を関係機関に対し要望していきます。 【渋滞】【防災】【産業】 |

■岩国市都市計画マスタープラン（2017.3）

| 南岩国地域 地域づくりの方針 | 方針の内容 |
|-------------------|---------------------------------------|
| ②道路・交通環境 | 岩国南バイパスの南伸による広域交通環境の整備を促進します。 【渋滞】 |

7. 政策目標の案（整備方針の検討）

7. 政策目標の案（整備方針の検討）

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

地域の将来像

1. 産業振興を支援するネットワークの強化
2. 交通の円滑化
3. 交通安全の確保
4. 災害時に強い道路ネットワークの確保

◇ 対策案の検討(案)

【産業振興関連】

製造業等の地域産業の活動を支援する道路整備とは

【交通円滑化関連】

現道の交通混雑を緩和する道路整備とは

【安心安全関連】

安全性を高める道路整備とは

【防災関連】

越波等による通行止めにおける社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

当該地域に求められるサービスとは

⇒安全・安心で円滑な走行空間を確保するとともに、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し比較検討

7. 政策目標の案（整備方針の検討）

政策目標

産業振興を支援するネットワークの強化

- 臨海部の工業団地には製造業事業所が19企業立地。
- 岩国港や岩国IC等への低いアクセス性。
- 製造品等の納入時間や通勤時間の遅延リスクが発生し、企業活動に支障。

地域・道路交通の課題

交通の円滑化

- 対象区間の国道188号には、主要渋滞箇所が3箇所存在。
- 朝のピーク時間帯には、3.3kmの渋滞が発生しており、通勤・通学などの生活に支障。

交通安全の確保

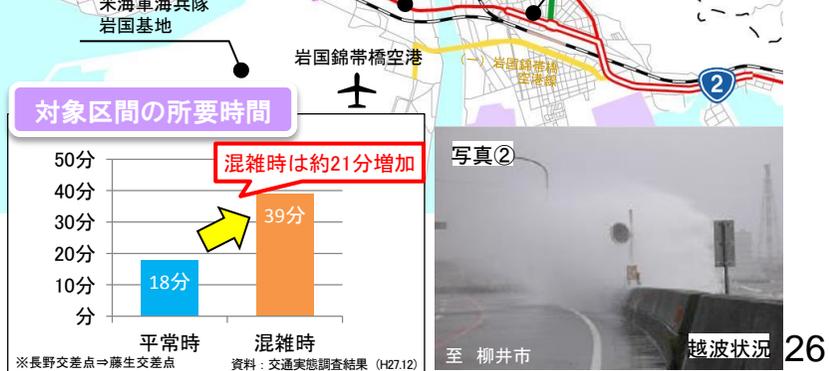
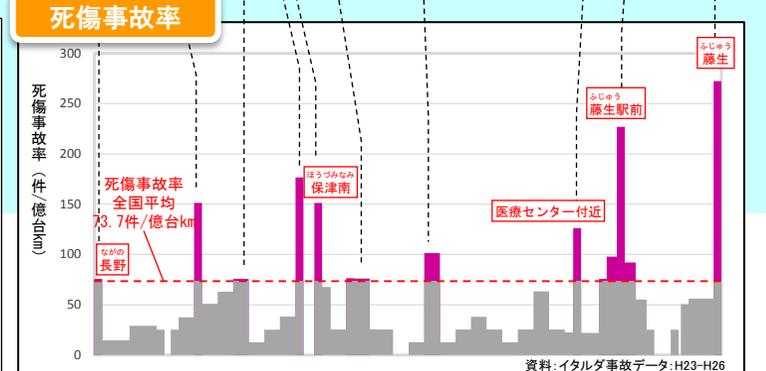
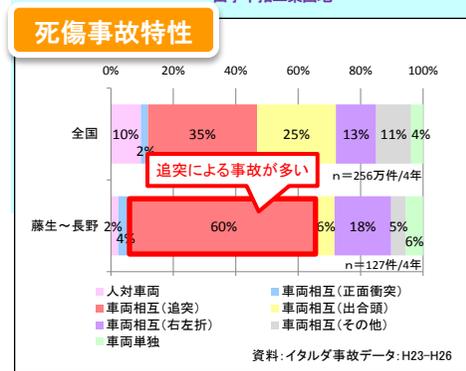
- 対象区間には、全国平均死傷事故率（73.7件/億台キロ）を上回る箇所が藤生交差点を始め、多数存在する。
- 国道188号の藤生～長野の区間における死傷事故件数の6割を交差点からの出入り交通や渋滞等に起因する追突事故が占めている。

災害時に強い道路ネットワークの確保

- 対象区間の国道188号には、越波による事前通行規制区間が存在し、越波による全面通行止めは、過去20年間で4回発生。

凡例

- 主要渋滞箇所
- 主要渋滞区間
- その他交差点
- 主な事業所エリア
- ⇄ 越波による全面通行止め
- H●●●● 全面通行止め日時（通行止め時間）
- ▶ 1.0km 渋滞長（朝ピーク）
- ◀ 1.0km 渋滞長（夕ピーク）
- ※交通実態調査結果
- H22交通量調査：24時間交通量(台/24h) (混雑度)



8. 意見聴取方法（案）

8-1. 意見聴取の周知方法・期間・対象者

■地域への意見聴取の周知方法

【アンケート配布範囲】

周知方法

岩国市・和木町のホームページに意向調査（Web）のバナーを設置

チラシ、山口河川国道事務所ホームページ等で幅広く広報を実施



■意見聴取の期間

1ヶ月程度

■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法

| | | 対象者・実施方法 | |
|-------|----------------------------------|--|---------------------------|
| アンケート | 【地域住民】住民へ郵送配布 | | 約 48,300 部 |
| | | 岩国市（旧岩国市、旧由宇町）、和木町（H27国勢調査の世帯数を集計） | 約 48,300 部 |
| | 【企業及び団体】整備区間沿線および山口県内外の関係企業へ郵送配布 | | 約 5,100 部 |
| | | 沿線：企業・事業所（岩国市（旧由宇町、旧岩国市）、和木町）（H26経済センサスを集計） 広域：トラック協会等（山口県、広島県） | 約 4,900 部 (想定) 約 200 部 |
| | 【道路利用者等】道の駅・集客施設に常設、WEB調査 | | |
| ヒアリング | 【関係自治体及び団体】山口県・関係市町・団体へ意見照会 | | |
| | | 自治体：山口県、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町 各団体：トラック協会、商工会議所、警察署、消防署、農協等 | |

8-2. 意見聴取方法（案）

■第1回アンケートの項目

| 意見聴取の項目 | 把握する意見 | 回答方法 |
|--------------------|------------------------------|-----------|
| ①一般国道188号の利用状況について | 利用頻度 | 選択式（単一回答） |
| | 主な利用目的 | 選択式（単一回答） |
| | 主な目的地 | 選択式（単一回答） |
| | 主な移動手段 | 選択式（単一回答） |
| ②交通問題について | 提示した交通問題の程度についてどう思うか | 選択式（単一回答） |
| | 提示した交通問題の他に、問題として感じていることはないか | 自由回答 |
| ③道路整備の必要性 | 道路整備の必要性についてどう思うか | 選択式（単一回答） |
| ④その他 | 道路に関する意見や要望 | 自由回答 |

8-3. 各手法の調査項目と活用方針

■意見聴取の方法目的

| 把握する意見 | アンケート | ヒアリング | 備考 |
|----------------------------|--|--|-----|
| 交通課題 及び道路課題 | 国道188号岩国市（藤生～長野付近）における交通課題及び道路課題について、地域住民等の概ねの考えを把握する。 | アンケートでは把握できない具体的な交通課題及び道路課題、道路の役割について把握する。 | 第1回 |
| 道路整備の必要性 | 国道188号岩国市（藤生～長野付近）における道路整備の必要性について、地域住民等の概ねの考えを把握する。 | アンケートでは把握できない道路整備によって期待できる効果について把握する。 | |
| その他自由意見 | その他、道路に関する意見や要望を幅広く聴取する。 | | |
| 比較ルート帯案 (複数案)に対する 意見 | ルート帯選定にあたり、地域住民等が概ね重要視する視点を把握する。 | ルート帯について、アンケートでは把握できない具体的な重要視する視点を把握する。 | 今後 |
| その他の自由意見 | その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。 | | |
| 回答者の属性 利用状況 | 回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。 | — | 共通 |

8-4. アンケート調査

■ 計画概要

① 調査概要

- 本調査の主旨、対象区間の説明

■ 岩国南部地域および由宇地域の現状

② 藤生～長野付近沿線地域および周辺地域の現状

- 対象地域周辺における地域の課題や拠点・道路の課題について説明

国道188号岩国市(藤生～長野付近)における計画に関する第1回アンケート

国道188号岩国市(藤生～長野付近)の計画に向けて みなさまのご意見をお聞かせください

今回のアンケートは、国道188号岩国市(藤生～長野付近)の計画検討にあたり、地域のみなさまの生活に役立つ道路とするため、ご意見を伺うものです。アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートの結果は、今後の国道188号岩国市(藤生～長野付近)の計画に役立てまいります。また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

■ 国道188号岩国市(藤生～長野付近)



一般国道188号「藤生～長野間」の交通問題

- ① 地域間を連絡する交通機能の低下により産業活動に影響がある
- ② 通勤・通学時に岩国市方面への渋滞が発生し、移動に時間がかかる
- ③ 信号交差点付近で交通事故が多発している
- ④ 海岸沿いを通過する区間において越波等により通行止めが発生する

8-4. アンケート調査

③質問内容・回答欄

【質問票】 (回答はがきに記載してください)

質問1 一般国道188号「藤生～長野間」には、以下の①～④の交通問題があると認識しています。①～④の項目に対して5段階評価で当てはまる番号をお書きください。
回答する際、別紙「周辺地域と道路の現状」をご参照ください。

【一般国道188号「藤生～長野間」の交通問題】

- ① 地域間を連絡する交通機能の低下により産業活動に影響がある
- ② 通勤・通学時に岩国市方面への渋滞が発生し、移動に時間がかかる
- ③ 信号交差点付近で交通事故が多発している
- ④ 海岸沿いを通る区間において越波等により通行止めが発生する

↳ <5段階評価> 1. 問題だと思う 2. やや問題だと思う
3. あまり問題だと思わない 4. 問題だと思わない
5. わからない

質問2 一般国道188号「藤生～長野間」の交通問題について、質問1の回答の主な理由や、質問1で挙げた問題以外に困っている点、改善してほしい点があれば、ご自由にお書きください。

質問3 一般国道188号「藤生～長野間」は、質問1に挙げた問題を解消するために、道路整備が必要だと思いますか。5段階評価で当てはまる番号をお書きください。

↳ <5段階評価> 1. 必要だと思う 2. やや必要だと思う
3. あまり必要だと思わない 4. 必要だと思わない
5. わからない

質問4 その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法

・回答は、右記の回答はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り

・平成**年**月**日(**)まで に投函願います。

【回答はがき】 (質問票をご覧ください回答してください)



質問1について、お答えください <5段階評価> で〇をつけてください

| 交通問題 | 問題だと思う | やや問題だと思う | あまり問題だと思わない | 問題だと思わない | わからない |
|------|--------|----------|-------------|----------|-------|
| ① | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

質問2について、お答えください <自由回答>

質問1①～④の回答理由、質問1①～④以外に困っている点、改善してほしい点についてご記入ください。

質問3について、お答えください <5段階評価> で〇をつけてください

| | 必要だと思う | やや必要だと思う | あまり必要だと思わない | 必要だと思わない | わからない |
|--|--------|----------|-------------|----------|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

質問4について、お答えください <自由回答>

ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

8-4. アンケート調査

④手続きの流れ・ハガキ表面(地域住民用)

【 回 答 は が き 】

定形郵便物

料金受取人払郵便 7 4 7 - 8 7 9 0

防府局
承認

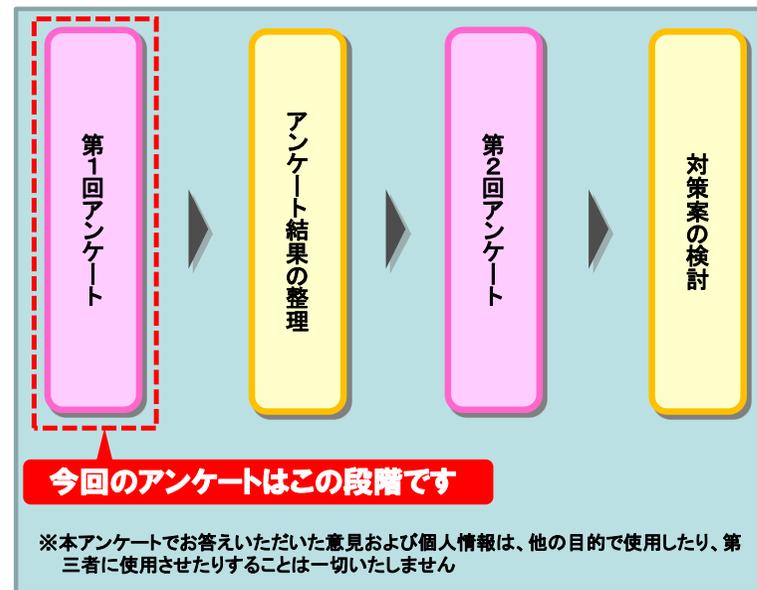
山口県防府市国衙1-10-20
国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
計画課 行

差出有効期間
平成**年**月**日
(切手不要)

仮

| | | | |
|--|------|------|-------|
| ◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】 | | | |
| 住所 〒 | 県 | 市・郡 | 町 |
| 性別 | ① 男性 | ② 女性 | 年齢 歳代 |
| ◆「藤生～長野間」の国道188号(以下「対象路線」)の普段の利用状況について【該当する番号に1つ○をつけてください。】 | | | |
| Q. 現在の対象路線を利用する際の主な交通手段を教えてください。 | | | |
| ① 自動車(乗用車) ② 自動車(トラック) ③ 公共交通(バス・タクシー) ④ バイク ⑤ 自転車 ⑥ 徒歩 | | | |
| Q. 現在の対象路線を自動車で利用する頻度を教えてください。 | | | |
| ① ほぼ毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度 →①、②、③を選ばれた方は<下段>の質問へ ④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない →④、⑤を選ばれた方は<上段>の質問へ | | | |
| Q. 対象路線の自動車による主な利用目的を教えてください。 | | | |
| ① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物 ④ 送迎 ⑤ 仕事 ⑥ 観光・レジャー ⑦ その他() | | | |
| Q. 主な目的地を教えてください。 | | | |
| ① 岩国市(旧岩国市) ② 岩国市(旧由宇町) ③ 岩国市(旧玖珂町) ④ 柳井市 ⑤ 周防大島町 ⑥ 和木町 ⑦ 大竹市 ⑧ その他() <上段>の質問へ→ | | | |

アンケートの今後の流れ



アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
担当: 計画課
☎ 0835-22-1819



安心して快適な
地域づくりのために
みなさまのご意見
お待ちしております。

8-4. アンケート調査

④手続きの流れ・ハガキ表面(事業所用)

【 回 答 は が き 】

定形郵便物

料金受取人払郵便 7 4 7 - 8 7 9 0

防府局
承認

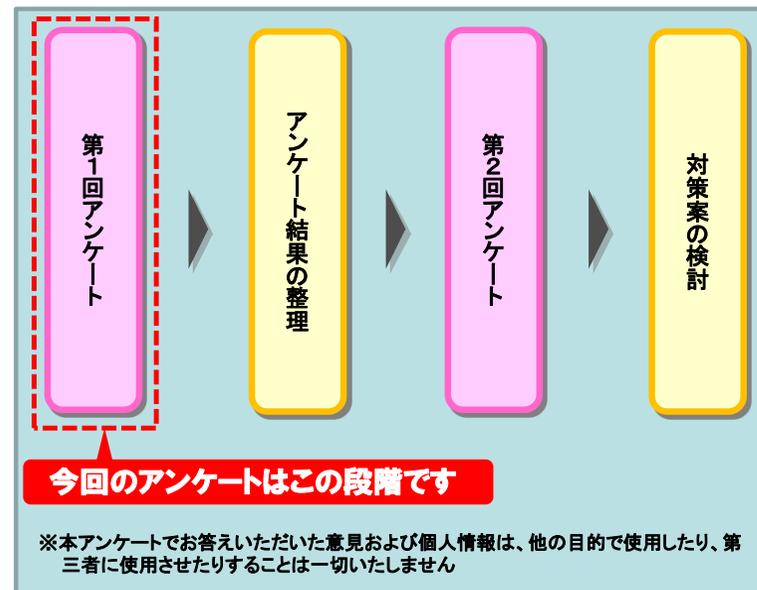
山口県防府市国衙1-10-20
国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
計画課 行

差出有効期間
平成**年**月**日
(切手不要)

仮

| | | | |
|---|---|-----|---|
| ◆貴事業所について【記入または該当する番号に○をつけてください】 | | | |
| 住所 〒 | 県 | 市・郡 | 町 |
| 従業員数 ① 1~4人 ② 5~9人 ③ 10~19人 ④ 20~29人 ⑤ 30~49人 ⑥ 50~99人 ⑦ 100~119人 ⑧ 200~299人 ⑨ 300人以上 | | | |
| 主な業種 ① 農業・林業 ② 水産業 ③ 鉱業・採石業 ④ 建設業 ⑤ 製造業 ⑥ 電機・ガス業 ⑦ 水道業 ⑧ 情報通信業 ⑨ 運輸業 ⑩ 卸売業 ⑪ 小売業 ⑫ 金融・保険業 ⑬ 不動産業 ⑭ 物品賃貸業 ⑮ 学術研究・技術サービス業 ⑯ 宿泊業 ⑰ 飲食業 ⑱ 生活関連サービス業 ⑲ 娯楽業 ⑳ 教育・学習支援業 ㉑ 医療・福祉業 ㉒ その他サービス業 ㉓ その他 | | | |
| ◆国道188号「藤生～長野間」(以下「対象路線」)の普段の利用状況について 【該当する番号に1つ○をつけてください。】 | | | |
| Q. 現在の対象路線を自動車で利用する頻度を教えてください。 | | | |
| ① ほぼ毎日 ② 週2~3回程度 ③ 月2~3回程度 ④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない | | | |
| →④、⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ | | | |
| Q. 対象路線の自動車による主な利用目的を教えてください。 | | | |
| ① 営業 ② 運送・運輸 ③ 調査 ④ 旅客 ⑤ 送迎(顧客) ⑥ 送迎(社内) ⑦ 運行しない ⑧ その他() | | | |
| Q. 主な目的地を教えてください。 | | | |
| ① 岩国市(旧岩国市) ② 岩国市(旧由宇町) ③ 岩国市(旧玖珂町) ④ 柳井市 ⑤ 周防大島町 ⑥ 和木町 ⑦ 大竹市 ⑧ その他() 《裏面》の質問へ→ | | | |

アンケートの今後の流れ



アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
担当: 計画課
☎ 0835-22-1819



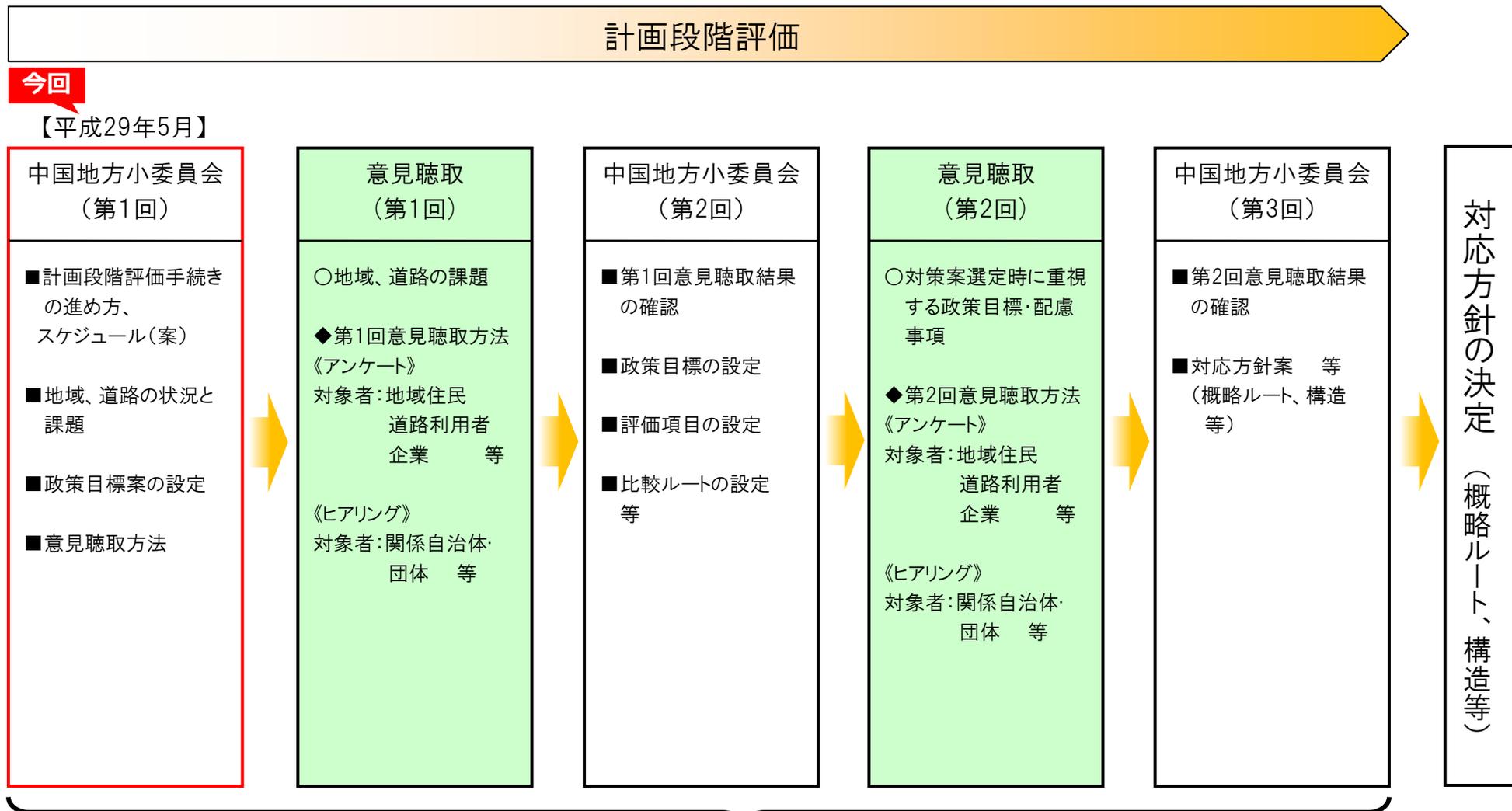
安心して快適な
地域づくりのために
みなさまのご意見
お待ちしております。

9. 計画段階評価の進め方（案）

9. 今後の計画段階評価の進め方（案）

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画[概略ルート、構造等]について検討を行う。



地方小委員会